



ほけんだより 7月号

令和4年7月1日
すくすくどろんこの会
かわぐち杜の保育園
統括看護師：山口 友恵
看護師：田口 睦

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。普段からの外遊びで身体を鍛え、喉がかわいていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。園では、環境省から配信されている暑さ指数をチェックしながら、外遊びを行っています。

楽しいプールあそびのために

子どもたちが大好きなプールあそびが始まります！ 楽しく安全にあそべるよう、ご家庭で以下のことをお願いいたします。

- ①毎日お風呂に入り、洗髪する
- ②爪を切る
- ③朝ご飯をしっかり食べる
- ④たっぷり寝る

※水いぼ、とびひなど皮膚の病気や、結膜炎、中耳炎などの目、耳、鼻の病気にかかっていたら、プールが始まる前までに治しておきましょう。

夏に気を付けたい感染症

ヘルパンギーナ
突然の高熱が数日続く。喉の痛み、口や喉に白っぽい水ぶくれができて痛む。

手足口病
口の中に発疹ができ、痛むため飲食をいやがる。手の平、足の裏などに水疱ができ、発熱することもある。

咽頭結膜熱(プール熱)
アデノウイルスによる感染症。高熱が続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出る。うつりやすいため、家族みんなでこまめに手を洗い、タオルの共用はやめましょう。

流行性角結膜炎(はやり目)
アデノウイルスによる感染症。目が腫れ、充血し、目やにや涙が出る。タオルの共有はやめましょう。

※虫除けに関するお願い※

当園では生後六ヶ月を過ぎた全園児を対象にサレクトウォーターミストを使用しています。アレルギーや肌が弱い等、使用を希望しない方は担任まで申し出をお願いします。

また、虫除けシールや虫除けブレスレットの使用はお断りしています。誤飲や他児へのかぶれ防止の為使用はお断りします。

▽皮膚のケア▽

子どもは新陳代謝が活発で、たくさんの汗をかきます。放っておくと皮膚(ひふ)のトラブルにもつながるので、体を清潔にして快適な毎日を送れるようにしましょう。下記の他に濡れタオルで優しく拭き取ることも効果的です。

汗をかいたら、こまめにシャワーを浴びましょう。

お風呂上がりは、バスタオルでしっかり体を拭きましょう。あせもができている時は、上から優しく押さえて水気を取ります。

乳児には、お風呂上がりの清潔な状態で、保湿クリームをつけましょう。